

【障害者団体からのご意見への回答】

○健康福祉センタートレーニング室のランニングマシンの利用について障害者の利用を一律に禁止しないしてほしい。

→障害者を理由にランニングマシンの利用を一律に禁止することはしていません。

利用する方の身体状態やマシン操作が安全に行えるかなどの確認をおこない、安全な利用が難しいと職員等が判断した場合には、利用をお断りしています。

担当課：地域保健課

○コミュニケーションボードを日常生活用具に認定してほしい。

→コミュニケーションボードは、公益財団法人などが開発し、ホームページから無償でダウンロードできるものがあります。また、コミュニケーションボードの他にもコミュニケーションのためのツールとして無償でダウンロードできるアプリケーション等が利用できるため、日常生活用具として助成対象とするには今後調査研究が必要です。

担当課：障害者支援課

○選挙の記入台の候補者名簿に顔写真を添付してほしい。

→候補者名簿に顔写真を添付することは現状難しいですが、投票が滞りなく行えるよう代理投票や点字投票を行っています。代理投票では指差しや耳打ち、まばたきなどで候補者名を教えてもらい、他の投票者にわからないような配慮をしています。また、家族などに事前に紙に候補者名を記入してもらい、それを持参する方にも対応しています。「配慮が必要な方は係員にお声がけください。」と入場券に記載しており、配慮が必要な方への迅速な対応を心掛けています。

担当課：選挙管理委員会事務局

○運転手が1名で介助できないという理由でコミュニティバスに乗車できないことがあった。

→原則として、車いすであることや障害があることを理由に乗車を断ることはありません。

しかし、「ていーろーど」すべての車両と「ていーワゴン」金子コース及び東金子コースの車両には、車イス用のリフト設備が付属していますが、「ていーワゴン」宮寺コースについて

は車イス用のリフト設備がないことから、介助しても乗車が困難など状況によっては断らざるを得ない場合があります。

今後も運行事業者に対し、乗降の際に困難が伴う方への乗務員の適切な対応について、周知徹底を図っていきます。

担当課：都市計画課

#### ■市役所新庁舎の設備について

##### ○障害者用駐車場の傾斜をゆるやかにしてほしい。

→新庁舎の障害者用駐車場のスロープは、車いすの方でも移動がしやすい傾斜で設計しています。また、障害者用駐車場から庁舎内までは屋根が設置されるため、雨の日でも移動がしやすい設計となっています。

##### ○エレベーターのドアを透明にしてほしい。中が見えると、人がいるかどうかわかるため。

また、トラブルがあった際に身振り手振りで知らせることができる。

→事業者を確認をしたところ、エレベーターは建築基準法に基づき特定防火設備（1時間以上火炎が貫通しない性能を持った防火設備）とする必要があります。透明のドアや窓付きのドアにした場合、特定防火設備とすることができなくなるため、ご要望にお応えすることができません。

担当課：公共施設マネジメント推進課

##### ○市の広報、申し込みにFAXを載せてほしい。

→申し込みが必要な記事につきましては、窓口・電話・メール・ファクス・Webサイト・郵送の6つ方法の中から、事業ごとに対応している受付方法を掲載しています。各事業の申し込みの受付方法は各事業の担当課が選定しています。

担当課：秘書広報課

○市公式LINEのメニューボタンがラベル付けされておらず、音声読み上げ機能（VoiceOverやTalkBack）が読み取れない。

→公式LINEのメニューボタンは、音声読み上げ機能（VoiceOverやTalkBack）に適応しています。配信メッセージにおいては、絵文字等一部音声読み上げ機能に適応していない文字を含みますが、文章の内容は支障なく伝わるように配慮しております。

担当課：企画課デジタル行政推進室（市LINE公式アカウントのメニューボタンに関すること）、秘書広報課（市LINE公式アカウントの配信メッセージに関すること）

○職員研修で障害者について知ってもらう機会を作してほしい。

→新規採用職員研修の中で、障害者について、また合理的配慮について理解を深める研修を行っています。また、今年度は職員研修にて障害平等研修を実施しました。

担当課：人事課

○自分は全盲で、夫は弱視のため、市から送られてくる通知が読めない。中身がわからないため、タイトルだけでもSPコード（音声コード）をつけてほしい。

→音声コードには、SPコードとUni-Voiceがあります。SPコードは専用の読み取り装置が必要なに対し、Uni-Voiceはスマートフォンやタブレット等で読み取れるため汎用性が高いものとなっています。そのため、入間市は、特定非営利活動法人日本視覚障がい情報普及支援協会（JAVIS）が提供している音声コードUni-Voice作成ソフト JAVIS APPLI ライセンスを取得しています。今後は、Uni-Voiceの採用事例を参考にしながら、当課からの通知に活用していきます。

担当課：障害者支援課